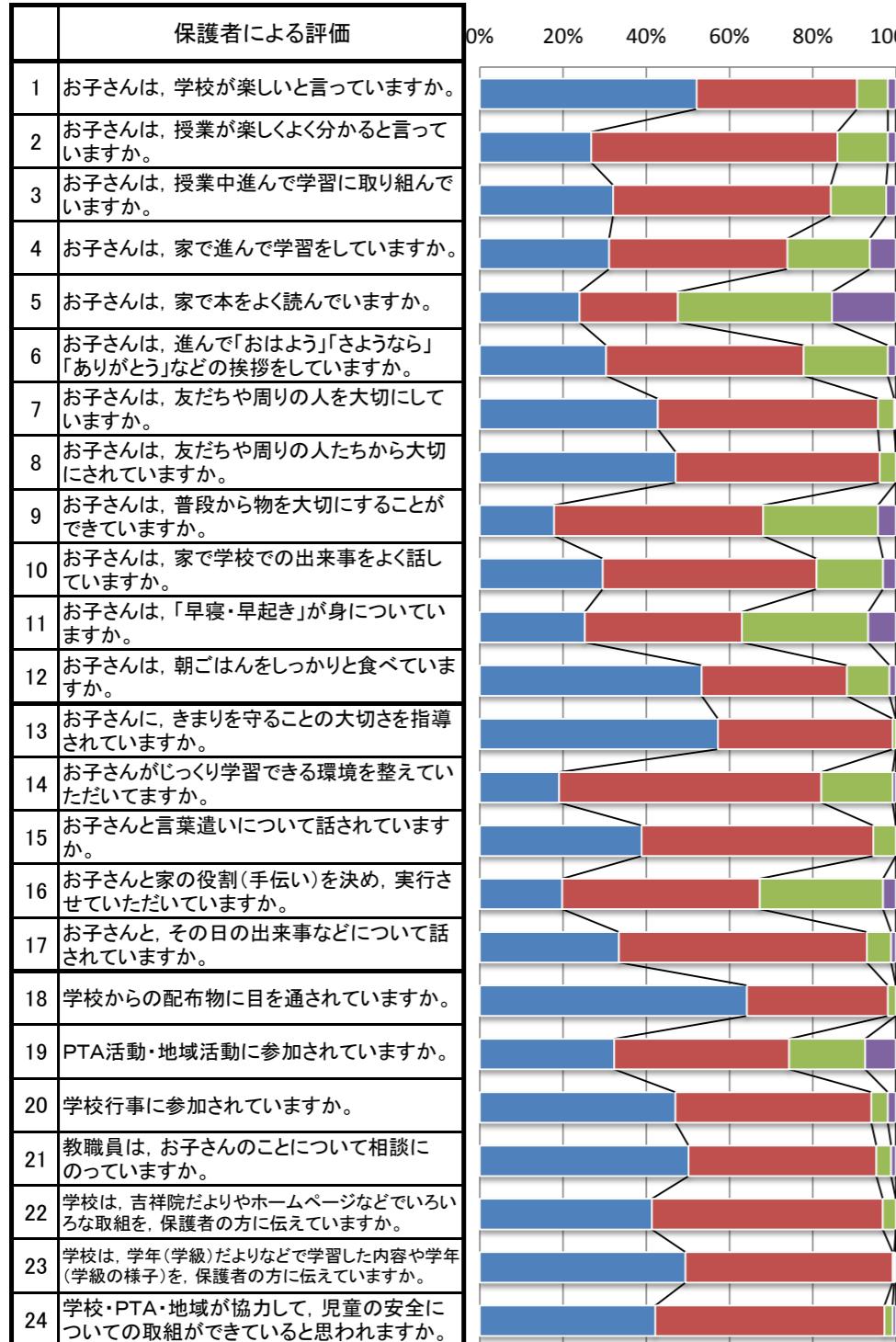


学校評価を 児童の豊かな学びと育ちへ

平成29年 7月実施 学校評価（保護者 児童 教職員）のまとめ

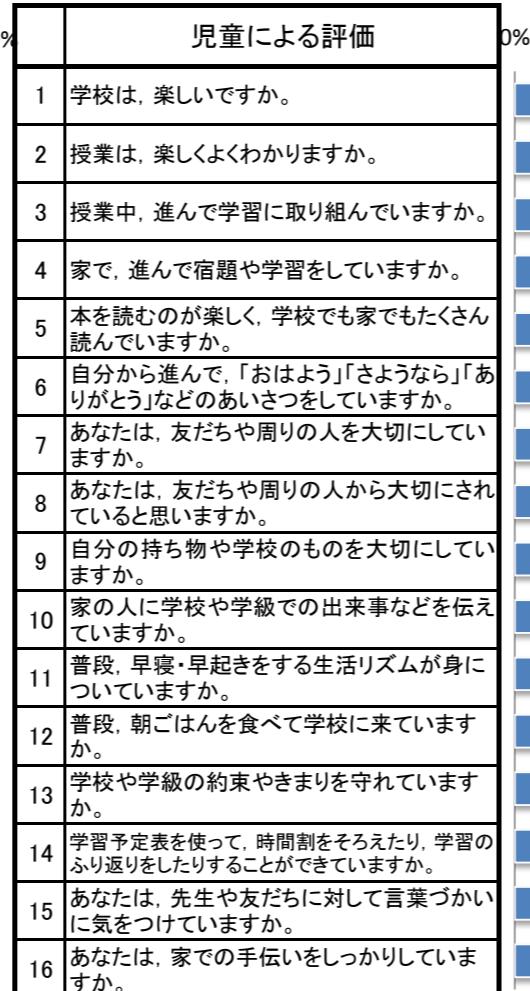
7月の個人懇談時に実施いたしました学校評価の集計ができました。今回、約260名の保護者の方々から回答を頂きました。心からお礼申し上げます。教育活動を見直すことができるよう、保護者のみなさまと子どもたち、そして教職員が、様々な視点で評価できる形にしております。簡単な考察ですが、掲載しましたのでご一読いただければ幸いです。この結果を生かし、さらに子どもたち一人ひとりを大切にした教育活動を行っていきたいと思います。今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

グラフの見方(左から)
 そう思う
 だいたいそう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない



○保護者アンケートの結果より

項目13～24の「家庭でのかかわり」「学校や地域の連携」に関する設問全般において、前回行った平成28年度2月の学校評価よりもよい結果が出ました。これは各ご家庭において努力いただいているものと大変感謝しております。項目23においては、**そう思う、だいたいそう思う**を含めると、ほぼ100%の回答を得ており、学校からの配布物やお便りに目を通していただき、学校での様子に高い関心をもっていただいていると伺えます。特に、項目19、24において、**そう思う**と回答した方が、前回より10%以上増え、児童の安全確保にご協力いただいていることを含め、PTA活動・地域活動の積極的な参加に大変感謝しております。これからも一層保護者・地域の方々と連携を図り、子どもたちが生き生きと学校生活を送れるよう努力してまいります。

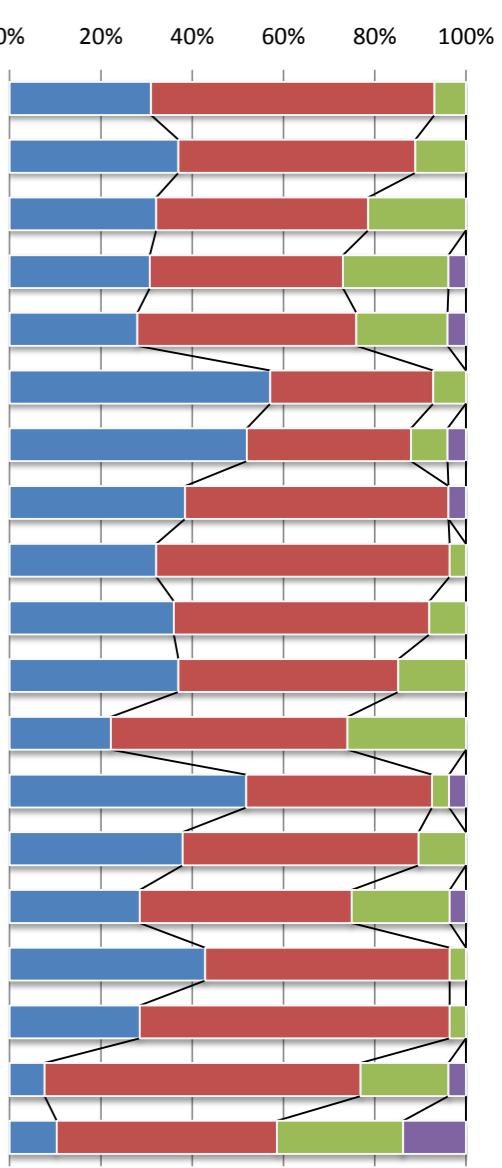
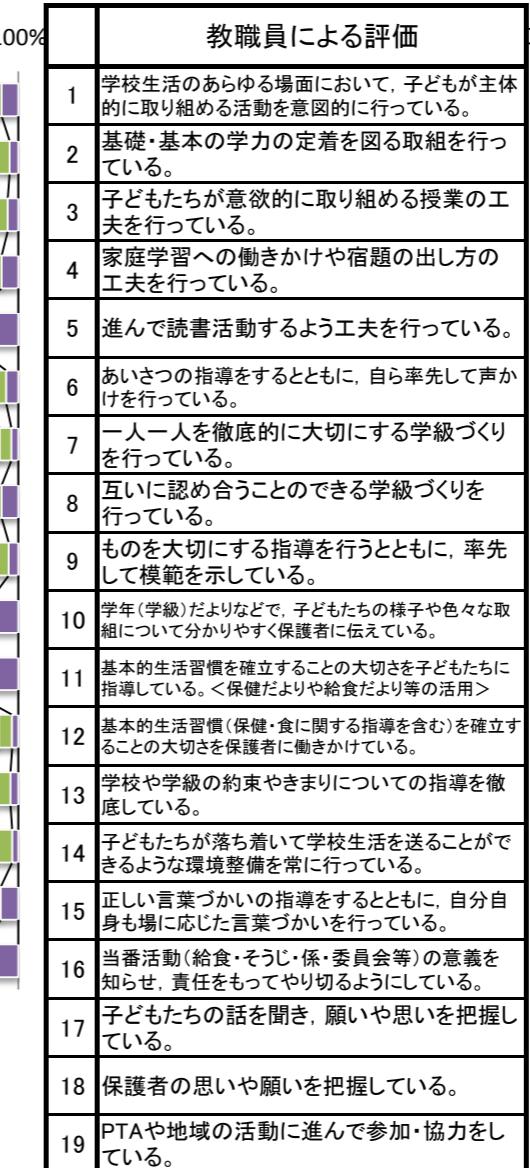


○児童アンケートの結果より

平成28年度2月の学校評価と比較して、ほとんどの項目において**そう思う**の回答の割合が増えている結果となりました。課題としていた項目5の「本を読むのが楽しく、学校でも家でもたくさん読んでいますか」については、**そう思う**の割合が前回よりも10%以上増え、全項目の中でも一番高く上回っていました。朝読書の定着や読書ノートの活用など、学校教育の中で日々取り組んでいることが少しずつ成果として表れてきたのではないかと思われます。読書は心を豊かにし、ものの見方や考え方を広げ、読解力や言語の力を伸ばしてくれます。子どもたちがこれからも自主的に読書活動が行うことができるよう、更なる読書指導の工夫と充実を目指していきたいと思います。項目2、3においては、**そう思う、だいたいそう思う**の回答が前回より4～9%以上増え、授業はよく分かり進んで取り組めている児童は86%を超えています。授業中で自分の考えや意見を積極的に発表しようと、相手の発表を聞いてハンドサインや自分なりの意見を伝えたりしている姿が多く見られるようになってきました。子どもたちが「わかる喜び」を味わい、「学ぶことが楽しい」と思える授業を心がけていかたいと思います。項目7においては、自分は人を大切にしているという回答が96%を超えており、人を大切にする意識が高くなっていることが伺えます。しかし、項目15の言葉遣いに気をつけているかの回答について回答している割合が86%と前回より5.5%減っています。項目9の持ち物を大切にしているかの回答についても前回より下回る結果となりました。身の回りにあるものが大切にできないのは大変残念なことです。学校内でも、えんぴつや消しゴムなどの小さな物から上着やかばんなどの大きな物まで落とし物を目にします。物が豊富にある世の中だからこそ、人や物を大切にする気持ちをより一層育んでいきたいと考えます。

アンケートの比較より

項目ごとに保護者アンケートと児童アンケートの比較をしてみました。項目4の「家で進んで宿題や学習をしていますか」においては、**そう思う、だいたいそう思う**の割合が、児童は約85%、保護者の方は約73%と若干の差がありました。家庭学習は、学校で学習したことを復習することで習熟・定着を図ることができ、反復練習によって「できる」という自信に変わっていきます。また、毎日続けることで、当たり前の習慣となり、少しずつでも継続することが自身の力につながります。一つ一つの積み重ねが大きな力となるよう、学校と家庭が連携することで、更なる向上を目指していきたいです。項目9の「普段から物を大切にしていますか」の質問においては、約9.2%、保護者の方は約68%となり、物を大切にすることはわかっていても、行動に移すことが実際にできているかは難しい現状にあるようです。物を大切にするということは、具体的にどうすればよいのか、どのように行動すればよいのかを子どもたちと一緒に考え、見守っていくことが必要なのではないかと考えます。物だけでなく、人に対する思いやりももてるよう、教職員一同、これからも邁進していくことを願っています。



【教職員の自己評価について】

項目によっては、学級担任のみが回答しています。今後は、より一層、積極的に学習に取り組めるように授業の工夫や改善を行うとともに、家庭学習や基本的生活習慣の働きかけを組織的な取組としてさらに充実していく必要があると考えます。今後の教育活動において、すべての項目に「**そう思う**」がつけられるよう、努力してまいりたいと思います。また、学校の約束や言葉遣いをはじめ、気持ちの良いあいさつが自ら進んでできるよう、教職員全体で取り組み、学校・地域に広げられるようにしていきたいと思います。

次回は、年が明けてから学校評価を実施します。よろしくお願いいたします。

